

2 令和4年度予算概況

令和4年度当初予算は、各種事業の費用対効果を踏まえたうえで、限られた財源を有効に活用し、安全で安心して暮らすことのできる地域づくりを推進するため、効率的・効果的な予算編成を行いました。

(1) 一般会計

令和4年度一般会計の予算総額は、歳入歳出それぞれ15億4,123万円となり、前年度に比べて2,404万8千円(1.54%)の減となりました。

歳入の主なものは、構成市町村からの負担金が14億2,260万5千円で、歳入全体の92.30%を占めています。その内訳は、総務費負担金2,712万1千円、民生費負担金2,066万8千円、衛生費負担金3,718万1千円、消防費負担金13億1,750万3千円、消防施設整備負担金2,013万2千円となっています。

歳出の主なものは、消防費が13億9,488万2千円で、歳出全体の90.50%を占めています。その他の歳出として、議会費246万4千円、総務費7,603万7千円、民生費2,067万円、衛生費3,718万1千円、公債費719万6千円となっています。

各詳細については次のとおりです。

① 歳入

(単位:千円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較	構成比
1 分担金及び負担金	1,422,605	1,461,885	△ 39,280	92.30%
総務費負担金	27,121	23,628	3,493	1.76%
民生費負担金	20,668	21,705	△ 1,037	1.34%
衛生費負担金	37,181	37,181	0	2.41%
消防費負担金	1,317,503	1,347,700	△ 30,197	85.48%
消防施設整備負担金	20,132	31,671	△ 11,539	1.31%
2 使用料及び手数料	1,746	1,919	△ 173	0.12%
3 国庫支出金	13,749	15	13,734	0.89%
4 県支出金	6,181	6,263	△ 82	0.40%
5 財産収入	1	1	0	—
6 寄附金	1	1	0	—
7 繰越金	58,000	50,000	8,000	3.76%
8 諸収入	10,947	5,094	5,853	0.71%
9 組合債	28,000	40,100	△ 12,100	1.82%
合 計	1,541,230	1,565,278	△ 24,048	100.00%

② 歳出

(単位:千円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較	構成比
1 議会費	2,464	2,469	△ 5	0.16%
2 総務費	76,037	73,078	2,959	4.94%
3 民生費	20,670	21,705	△ 1,035	1.34%
4 衛生費	37,181	37,181	0	2.41%
5 消防費	1,394,882	1,413,166	△ 18,284	90.50%
6 公債費	7,196	14,879	△ 7,683	0.47%
7 予備費	2,800	2,800	0	0.18%
合 計	1,541,230	1,565,278	△ 24,048	100.00%

③ 主な事業

○消防車両整備事業

高規格救急自動車1台を更新し、迅速な救急体制を整備するとともに、更なる救命率の向上を図ります。

○基幹相談支援センター設置・運営事業

地域における障害者相談支援の中核的な役割を担う相馬地方基幹相談支援センターを設置して、障がい者福祉の充実を図ります。

○救急医療対策事業

休日における急病患者の医療を確保する在宅当番医制事業費、歯科在宅当番医制事業費及び休日・夜間に入院治療を要する救急患者の医療を確保する病院群輪番制病院運営事業費を補助します。

○相馬地方介護人材緊急対応事業

高校生を対象とした介護職員初任者研修や介護福祉士実務者研修を実施し、将来の相馬地方における介護事業を担う人材を育成します。

④ 住民負担金と住民サービスの概要

○住民1人あたりが負担する額	13,317 円	
総務費負担金	254 円	
民生費負担金	193 円	
衛生費負担金	348 円	
消防費負担金	12,334 円	
消防施設整備負担金	188 円	
○住民1人あたりの行政サービス経費	14,401 円	
議会費	組合議会運営のために	23 円
総務費	組合業務全般のために	712 円
民生費	障がい者福祉向上のために	193 円
衛生費	救急医療体制のために	348 円
消防費	防災・救命救急のために	13,058 円
公債費	組合の借入金返済のために	67 円

※相馬地方の人口106,823人で計算
(人口は令和3年度普通交付税算定に用いた人口による)

※年額

(2) 看護専門学校特別会計

令和4年度看護専門学校特別会計の予算総額は、歳入歳出それぞれ2億2,711万8千円となり、前年度に比べて414万3千円(1.86%)の増となりました。

歳入の主なものは、構成市町村からの負担金が1億7,576万5千円で、歳入全体の77.39%を占めています。その他、使用料及び手数料が3,473万9千円で、内訳は入学金や授業料などです。

歳出は、看護専門学校費が2億2,602万円で、歳出全体の99.52%を占めています。その他、公債費9万8千円が0.04%となっています。

各詳細については次のとおりです。

① 歳入

(単位:千円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較	構成比
1 分担金及び負担金	175,765	177,142	△ 1,377	77.39%
2 使用料及び手数料	34,739	35,220	△ 481	15.30%
3 国庫支出金	1	0	1	—
4 寄附金	1	1	0	—
5 繰越金	16,000	10,000	6,000	7.04%
6 諸収入	612	612	0	0.27%
合 計	227,118	222,975	4,143	100.00%

② 歳出

(単位:千円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較	構成比
1 看護専門学校費	226,020	221,975	4,045	99.52%
2 公債費	98	0	98	0.04%
3 予備費	1,000	1,000	0	0.44%
合 計	227,118	222,975	4,143	100.00%